

改革推進会議「施策点検部会」説明資料

所属部会	教育・環境部会	担当部局	教育委員会	担当課	義務教育課	
基本目標	「心豊かなしまね」～地域を愛し、次代を担う心豊かな人材を育成するとともに、県民が心豊かに生きがいのある人生を実感できる社会を目指します。					
テーマ名	子ども読書活動推進事業			事業開始年度	平成21年度	
事業の背景	<p>児童生徒の日常に氾濫する、テレビ・ゲーム・インターネット・携帯電話などから受け取る刺激のある情報は、児童生徒の活字離れを招き、子どもたちから読書の機会をうばっている。一方PISA調査や教育課程実施状況調査などによって、子どもたちの思考力・判断力・表現力等において課題があることが明らかになっている。</p> <p>○島根県の児童生徒及び学校の現状</p> <p>【H20全国学力・学習状況調査（ ）内は全国平均】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭等での読書時間が30分以上の児童生徒の割合 小:32.0%(36.8%) 中:27.5%(27.9%) ・学校図書館図書標準を達成している学校の割合 小:24.1%(50.7%) 中:19.4%(43.8%) <p>【文科省H20年度学校図書館の現状に関する調査（ ）内は全国平均】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の図書標準を達成している学校の割合 小:19.6%(45.2%) 中:24.5%(39.4)% 					
事業の目的	学校図書館の機能を活用することにより、読書を通じて感性や想像力を高め、児童生徒の豊かな心をはぐむとともに、図書館を活用した授業を展開することにより、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育成する。					
事業の目標	学校図書館の「読書センター」としての機能及び「学習・情報センター」としての機能を高めるために、県内全ての小中学校の図書館を「人のいる図書館」にすることを旨とし、学校図書館活用教育において児童生徒の教育活動に直接携わる司書教諭の養成及び学校図書館の整備を推進する。					
現在の状況 (実施状況)	<p>島根県の状況（ ）内は全国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書等を配置している学校の割合 小:30.6%(38.7%) 中:20.6%(38.4%) ・学校図書館を活用した授業を計画的に行っている学校の割合 小:46.8%(67.3%) 中:28.3%(39.7%) ・司書教諭を発令している学校の割合 小:24.8%(61.8%) 中:24.5%(59.1%) 					
事業の概要 (主な事業の内容)	<p>①学校司書等配置事業 県内全小中学校の学校図書館を、「人のいる学校図書館」にするために、学校司書等を配置する市町村に対して、財政支援をする。</p> <p>②司書教諭養成事業 学校図書館を活用した児童生徒の教育活動に直接携わる司書教諭を、県内全小中学校に配置するため、司書教諭の資格取得にかかる島根大学主催の司書教諭講習の旅費を全額負担する。また、放送大学等が主催する講習の経費を補助する。</p> <p>③学校図書館パワーアップ事業 教職員の協働により、学校図書館を整備する学校をしようとする小中学校を推進校として指定し、整備を行うとともに、その成果を広く普及する。また整備前、整備中、整備後の様子をDVDに撮影・編集し、全小中学校に配付、普及を図る。</p> <p>④学校図書館活用コンクール 読書活動や学校図書館を活用した事業実践において、優れた取組をしている学校を公募して表彰する。コンクールの優秀校の取組は広く普及する。</p> <p>⑤子ども読書活動啓発事業 学校図書館活用教育を推進するための校内体制や、読書活動の具体的な取組、図書館を活用した授業実践について、実際の取組を撮影、編集、解説したものをDVDにまとめて、全小中学校に配付する。校内研修等で視聴することで、学校図書館活用教育の普及を図る。</p> <p>⑥学校図書館活用推進事業 読書活動や学校図書館に対する県民への理解促進を図るため、学校図書館における取組をパネルにまとめて、読書フェスティバルの機会に展示する。</p>					
予算の状況 (補正後)	H20年度予算額	千円	H21年度予算額	135,883 千円	H22年度予算額	154,870 千円
	H20年度執行額	千円	H21年度執行額	130,261 千円		
事業の抱える課題	<p>①司書配置に対する市町村の考えの違い・司書配置に積極的な市町村がある一方、ボランティアにとどまる市町村もあり、学校図書館活用教育における市町村間の格差が懸念される。</p> <p>②蔵書の不足・学校図書館図書標準を満たす学校の割合が、全国と比べても低く、読書活動や学校図書館活用教育のための、図書資料が不足している。</p> <p>③児童生徒の実態から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育においては読書活動の推進を図っているが、家庭での読書は思うように進んでいない。 ・学校図書館を活用した情報活用教育の推進を図っているが、まとめる力や表現力に課題がある。 					
今後の検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読書をすすめるためには、保護者が本を手にする機会を増やすことも大切な要素だと考えるが、親の活字離れも深刻である。保護者への啓発をどのようにすればよいか。 ・表現力の育成について、例えば企業における職員育成プログラム中の「プレゼン研修」等のノウハウを学校教育に生かすことができないか。 					

子ども読書活動推進事業

島根県教育庁義務教育課

学校図書館支援の考え方

- ・ 読書や図書館を活用した学習が、子どもたちの成長に大きなよい刺激を与える。
- ・ 県がリードして全県的に運動を進める方が、県民の理解と指示を得やすい。



なぜ「学校図書館」か？

子どもたちに求められている力

確かな学力

知

生きる力

豊かな心

徳

健康・体力

体

なぜ「学校図書館」か？

読書
センター



学習・情報
センター

読書活動

図書館を活用した学習

感性・想像力

情報活用能力

豊かな心

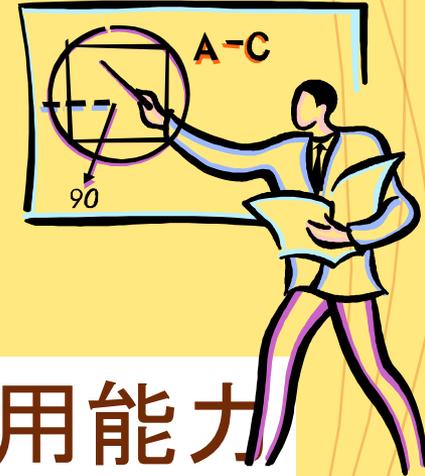
確かな学力

なぜ「学校図書館」か？

読書活動 図書館を活用した学習



司書教諭



感性・想像力

情報活用能力

豊かな心

確かな学力